

特別養護老人ホーム 「新千秋」

流しそうめん

本年度も、新千秋事業所恒例になりました流しそうめんを八月十六日（木）に行いました。



主催は蟹江町の民生委員『おやじの会』の方で、一年生から六年生まで総勢二十名の学童の子ども達を引き連れて施設に遊びに来てくれました。

最初は緊張していた子供達も、入居者の皆様とゲームや歌を歌いながらの肩たたきで触れ合ううちに、自然と笑顔になっていました。ゲームの後は流しそうめん



をグループホーム、デイサービス、新千秋特養の順番で行い、子供達とお年寄りと一緒に、夢中でそうめんをすくっていました。今年も忘れられない暑い夏の思い出になりました。これからも地域の方々にも参加して頂ける行事やボランティア等の呼びかけを行っていき、「地域密着」の理念に心掛けます。

グループホーム

催し物行事

グループホームでは新千秋特養と合同の花火大会やボランティアの方の協力による流しそうめんの催しがあったり、本部での夏祭りに参加するなど行事がいろいろありました。今回は、個別で外出されている様子と新かにえ夏祭りの様子を紹介させていただきます。

七月三日（火）に買い物好きで仲の良いお二人と一緒に、名古屋駅にあります



JRゲートタワーへ出掛けました。当日は近鉄富吉駅から電車に乗って出掛け、

「以前は電車をよく使っていた。」などと車中で話をされていました。現地では美味しいと評判のハンバーグを堪能し、目新しいお店を見て回って買い物を楽しまれた様子でした。

七月二十七日（金）には隣地の希望の丘広場で、毎年恒例の「新かにえ夏祭り」に参加させていただきました。休憩用テントには、いつもカリヨン用の座席を設けていただき、利用者の方々も安心してお祭りを楽しませていただいています。

最初は座りながら、盆踊りの手振りをしていただけ、お誘いすると櫓に上がつて地域の皆さんと一緒に元気に踊ってみえました。



デイサービス 「新千秋」

外出行事

愛西市にある道の駅「立田ふれあいの里」へ外出に行きました。ピンク色や白色など色とりどりの蓮を見ることが出来ました。蓮の葉はとても大きく、利用者様の中にはご自身の手の平や顔の大きさと比べられ、「大きい！」と驚嘆の声をあげられる方もおられました。また、季節に合った行事を行っていき、皆さんを笑顔にできるよう努めます。

